



発行所 財団法人兵庫消防協会  
神戸市中央区下山手通4丁目16番3号  
編集発行人 関山 巧  
定価 1部金44円

# 平成十七年度 理事会・代議員会開催

## 兵庫消防協会

あなたです  
火のある暮らしの  
見はり役

平成十七年五月二五日(水)新神戸オリエンタルホテルにおいて  
兵庫消防協会理事会・代議員会が開催されました。  
理事会・代議員会の主な議案は次のとおりです。



### 第一号議案

平成十六年度事業報告及び同  
普通会計歳入歳出決算承認につ  
いて

#### ◎事業の実施状況

- ・ 会議の開催
  - ・ 防火思想の普及事業
  - ・ 機関紙の発行事業
  - ・ 事業調査研究事業
  - ・ 教育訓練事業
  - ・ 消防操法大会事業
  - ・ 表彰事業
  - ・ 福利厚生事業
  - ・ 地区振興事業
  - ・ 消防団強化対策事業
- ◎普通会計歳入歳出決算報告  
収入額 四三、一〇二、六六四円  
支出額 四一、五六〇、二三四円  
収支差額 一、五四二、四三〇円

### 第二号議案



財団法人兵庫消防協会寄付  
行為並びに同寄付行為施行規則  
の一部改正について

支部名のうち「宍粟郡」を  
「宍粟」に、「城崎・日高・  
出石郡」を「豊岡市」に、  
「香住」を「美方郡」に、  
「朝来郡」を「朝来市」に、  
「水上郡」を「丹波市」に、  
「三原郡」を「南あわじ市」  
に、また津名郡のうち「津  
名町・北淡町・東浦町・淡  
路町・一宮町」を「淡路市」  
と改める。(この寄付行為  
の改正は、兵庫県知事の許  
可のあった日から施行する。)  
合併等に伴い、理事の総定  
数が「四四」から「三九」  
に、代議員の総定数が、「一  
三八」から「一〇二」とな  
った。(一、この規則は寄  
附行為の変更が兵庫県知事  
の許可を受けた日から施行  
する。二、この規則施行後、  
寄附行為及びこの規則に基  
づき新たな役員及び代議員  
が選任又は委嘱されるまで  
の間は、改正前の寄附行為  
及び規則に基づき選任又は  
委嘱された役員及び代議員  
がその職務を行う。)

### 報告事項

- ・ 平成十七年度兵庫消防協  
会事業計画及び同収支予算  
について
- ・ 役員等の異動について
- ・ 会員の殉職について

- ・ 台風二三号被害等にかかる  
救援の状況について
- ・ 平成十七年度消防団員研修  
の参加について
- ・ 「ひょうご消防のつどい2  
005」の開催について

## 兵庫県功労者表彰式 盛大に行われる

平成十七年度兵庫県功労者表  
彰式が五月二五日(水)に兵庫  
県公館で執り行われ、六名の方々  
が受賞されました。

なお、消防関係の受賞者は、  
次のとおりです。

◎消防功労(消防関係者)  
神戸市東灘消防団  
団長 志井 一雄

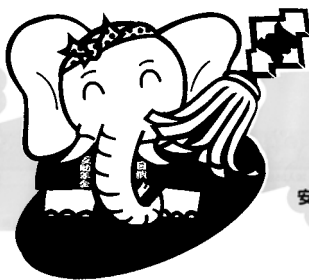
- 元明石市消防団 団長 木村 正彦
- 小野市消防団 団長 小林 正幸
- 淡路市消防団 岩屋地区団長 東根 弘
- 尼崎市消防局 消防正監 橋本 雅生

加古川市消防本部  
消防正監 松尾 俊明  
(敬称略)



### みんなで入ろう互助年金

## 消防互助年金



安全・確実・  
安心です!

老後の生活  
安定のために!

### 【消防の仲間が支える互助年金】

人生80年時代!老後の準備は怠れません

消防関係者一人ひとりの老後を充実させます

- ・ 会議などの際に、お呼びいただければ(財)日本消防協会の職員が説明に伺います
- ・ 費用は無料ですし、些少ですが会議費を助成致します
- ・ 消防互助年金制度説明用ビデオの貸し出しをしております

お問い合わせはフリーダイヤル 0120-658-494

手続きは、お済みになりましたか?

吉川町消防団長

中西 君一



緑豊かな交流と創造のまち、吉川町を火災などから守るため、日々活動しているのが「吉川町消防団」です。

当町消防団の歴史は、昭和三十年の町村合併により、奥吉川村・中吉川村・北谷村のそれぞれに組織されていた消防団が集まり、「吉川町連合消防団」となったところから始まったと言われております。

昭和三年の正式発足当時は、三支団に分かれ、三五分団・八

四七名で団員構成され、手引動力ポンプ十四台、小型動力ポンプ五台などが配置されていたそうです。

私が昭和五三年、二五歳で消防団に入団した頃は消防施設が今ほど整備されておらず、長靴・ヘルメットの不足、ホースも近くの電柱で干していたことが思い出されます。

また、火災現場においては、現在でも教訓となっている出来事があります。

民家火災で、ひとまわり小さくなった焼死体を発見し、火災の恐ろしさ・悲惨さを痛感したこと、また山林火災では、鎮火後翌日再び出火し、残火確認の重要性を再認識したことが、消防活動をしていく上で忘れることができません。

現在、吉川町消防団は三六分団・四二二名で構成され、小隊

### 消防団今昔

④

神戸市北消防団大沢支団 団長 西山 武史



神戸市北消防団大沢支団が管轄する大沢町は、神戸市北区の北部に位置し、林野に囲まれ、農業が基幹産業の地域です。私が入団した昭和四十年頃と風景こそあまり変わっていませんが、消防団の事情は大きく変わり、振り返りますといろいろなことが思い出されます。

現在の大沢支団は、六分団七班、定数一三〇名ですが、昭和

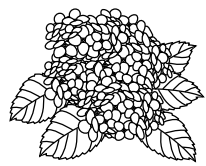
制への移行により昼間火災等に対する初動体制の確立をはかっています。消防施設も小型動力ポンプ付積載車三四台（主に軽四）、小型動力ポンプ三台と目を見張る充実ぶりです。

今年十月、市町合併に伴い、消防団も三木市消防団へと統合することとなりますが、これかも地域を守るという使命を忘



吉川町消防団結団式

れず、また、吉川町消防団員としての伝統と誇りもしっかり受け継いでいきたいと思っております。



年々増強される小型動力

五八年の組織改正以前は神戸市大沢消防団という名称で、一三〇名八分団で構成されていましたが、当時、消防積載車は一台しかなく、他の分団は台車で出勤していました。また、現在の出勤指令は消防署からボタン操作一つで、詰所にサイレン吹鳴と災害発生場所が録音されますが、

当時は団長宅に電話が入り、団長が団本部に急行、サイレンを吹鳴して団員を招集、各分団は現場確認の為に団本部まで伝令を走らせていました。

消防積載車を市の補助金を受けて配置するときには、消防団活動に積極的な集落が、多額の寄附をして消防団装備の充実を図ったことがありました。この

ような地元の好意に応えるために、各分団対抗の各種競技会で

は皆が頑張り、特に夏期訓練の分団対抗放水競技では、台車で猛ダッシュし、停止線の手前で急反転して停止、資機材を所定の場所まで運び、いかに早く放水するかを競う競技ですが、急反転し停止する技が腕の見せ所で、勝敗に大いに関係していました。

競技終了後には婦人消防隊の炊き出し訓練を兼ねたオニギリを昼食に、各分団で酒、肴を持ち寄り（当時酒といえば賀沢品とされていたビールではなく、二級酒が定番でした）、競技の勝敗や訓練の成果を大いに語り合い、将来の消防団を確信したものでした。

この原稿を執筆するにあたり、私もそういう年になったのかと思うと同時に、入団当時の懐か



## 地区通信

### ガンバレ！新入消防団員

篠山市消防団

平成十七年四月一日付で篠山市消防団に入団した百二十名の新入団員を一堂に集め、坂下那男団長より「団活動の基本は、適正かつ統制のある行動により、情勢の変化に対応し、被害の軽減を図ることを目的として、安心・安全のまちづくりに貢献できる消防団活動に期待をいたします。」との訓辞を受け、新しい訓練服とアポロキャップに身を包んだ団員へ、消防訓練礼式の基礎訓練及び各個訓練等を四月二四日に実施いたしました。

また、当団は、二一分団で組織しておりますが、今回の異動により十四分団の分団長が替わり指揮・命令系統の徹底を図るため、分団長を対象とした基礎訓練も併せて実施いたしました。なお、本年度は、新入団員を

の頃と現在では、施設・装備等は目覚しく変化しましたが、消防団員の心意気は今も昔も変わらず、これからも消防団の使命達成のため、精進していくつもりです。

火の三原則「人・水・器材」の基本事項の講義並びに火災等の現場における指揮系統、活動中の注意事項等の指導を行い、安全性の最優先を図るよう指導すると共に、「自分たちの地域は、自分たちで守る」の理念のもと、将来、消防団の担い手である新入団員への熱い期待とエールを送り、今後、より一層の団活動への協力を求めました。

中心とした、団主催の消防操法大会（水を出さない）を計画し、訓練礼式の徹底や資器材の基本操作の技術習得を目指して、来る七月十七日に二会場にて、可搬ポンプ三二隊、自動車ポンプ六隊、計三八隊で篠山市消防本部の協力を得て行います。準備及び審査等は分団長以上の幹部二九名で実施、出場隊は、操法経験者を除いた選手構成で、この団員個々の資力の向上を図ることを目的に、火災等の災害発生時の団活動に万全を期すため実施いたします。



## 入館無料 兵庫県公館一般開放

明治の面影を残す兵庫県公館では、毎週土曜日に館内を一般開放しています。

100年前にタイムスリップしたかのような重厚な空間で土曜のひとときを過ごしてみませんか？

兵庫県公館は、明治35年に4代目県庁舎として建設された歴史的文化遺産で、現在は迎賓館と県政資料館として利用されています。

迎賓館部門の各部屋には東山魁夷や小磯良平をはじめとする兵庫ゆかりの芸術家の作品が多数飾られており、建設当時の明治時代の香り漂う重厚な室内空間とともに鑑賞することができます。屋上庭園では、巨大なシャコ貝をあしらった噴水が来館者を出迎えます。

県政資料館部門では、兵庫県の130余年の歴史・文化を多彩な展示やミニシアターの映像などでわかりやすく紹介しており、子どもから大人まで兵庫の魅力を楽しむことができます。

＜開館日時＞ 毎週土曜日 10:00～16:00（年末年始をのぞく）

※ 県政資料館部門は、月～金の9:00～17:00も見学可

＜交通＞ JR元町駅西口から北へ徒歩約5分／神戸市営地下鉄県庁前駅すぐ

＜所在地＞ 神戸市中央区下山手通4-4-1

(連絡先) 兵庫県公館  
TEL 078-362-3823  
FAX 078-362-4468  
MAIL kenkoukan@pref.hyogo.jp





「頼もしい団長」

市川町消防団

大崎 尚樹 団長



市川町は、兵庫県の中東部からやや南西部に位置し、町の中央部を町名の由来となっている清流・市川が流れる、伝統と緑豊かな町です。大崎団長は、昭和六一年四月に入団以降、持ち前の正義感と熱意で、班長、部長、分団長を歴任され、平成十二年四月には副団長に、平成十六年四月には第五代団長に就任され、現在二七分団、六〇名の団員の先頭に立ち、地域の安全と安心を守るため日夜努力されています。

わがまちの団長さん

(25)



団長就任二年目となる今年も一貫して住民の方々の生命、財産を守るため、一生懸命頑張っておられます。日頃の団長は、規律に厳しい反面、団員への気配りも人一倍細やかで、その人柄は、団員はもとより団幹部からも厚い信望があります。そんな団長は、いざ災害が発生するとすばやく現場に駆けつけ、情報収集をするともに先頭に立って防衛体制を整えるなど、地域住民が安心して暮らせるよう常にリーダーシップを発揮して頑張っておられます。また、市川町消防団の重点目標を「地域に根ざした消防団」として、地元自治会と合同で消火訓練を行うなど、地域住民に密着し、信頼される消防団を積極的に展開されています。

「垂水の町・海

そして海神社を愛する団長」

神戸市垂水消防団

信川 克己 団長

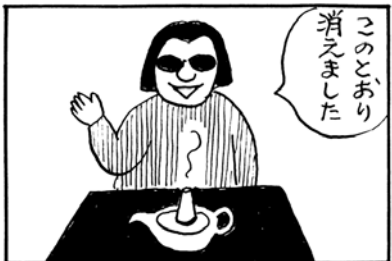


垂水区は神戸市の市街地西端に位置し、明石市及び明石海峡大橋を介して淡路島とも隣接しています。区内の地形は、南北に縦断するいくつかの谷筋と丘陵地となり、ほとんどが住宅地で近年の都市化の進行に伴い、現在人口約二万人で、神戸市の人口の約十五%を占めています。また、海岸沿いには漁業の拠点・垂水漁港、平磯海釣り公園、マリンピア神戸、アジュール舞子、県立舞子公園などがあり、多くの

人に親しまれています。信川団長は、昭和三八年垂水消防団東垂水分団に入団以来、持ち前の行動力と統率力が評価されて数々の役員を歴任し、平成十六年四月、団長に就任されました。昨年は多くの台風が来襲し、この垂水区にも被害をもたらしましたが、適切な判断をもって、同時多発する災害現場に適宜部隊を投入するとともに、団長自ら現場指揮を執るなど団員の士気を高め、被害の軽減に努めら

れました。現在六三歳の団長は、漁業に携わっておられ、神戸市漁業協同組合理事を務め、船に乗って沖にもでます。また航海安全・漁業繁栄の神である「海神社」の総代としても活躍され、「私は海が好きや、町も好きや」「海も、町も守ります」が口癖の、非常に頼れる団長さんです。

須磨浦ひろくの急げ消ちゃん33 PART



城崎ローブウェイ

城崎は、温泉街がJR城崎温泉駅に隣接するという利点と、山陰海岸国立公園の区域に位置し、独特の美しい河川景観を形成しています。城崎温泉の町並みは、四囲の緑に包まれ、その中大谿川の流れに沿って、桜・しだれ柳の並木と、玄武岩を重ねあわせた護岸に階段状の大鼓橋が四季折々の演出をし、詩情豊かな温泉情緒をかもしだす、日常の喧噪を忘れさせてくれる城崎温泉ならではの町並です。「高瀬川のような浅い流れが町の真中を貫いている。その両側に細い千本格子のはまった二階三階の湯宿が軒を並べ眺めは寧ろ曲輪の趣に近かった。」(暗夜行路より)これは大正初め頃の大谿川界隈の様子ですが、木造二・三階建の旅館は今も残り、

北から南から

「美しい自然と湯の香漂う 歴史的温泉まち」

豊岡市城崎消防団

当時の風情がなお息づいていまして。「湯治」という言葉が日本で初めて使われたのは城崎温泉。鎌倉時代の天才歌人・藤原定家の「明月記」に「木崎(きのさき)湯治、在但馬国」の記述が見られます(一一二六)。約一四〇年前にコウノトリが湯あみし、発見したと伝えられる「鴻の湯」、道智上人のまんだらとされる「まんだら湯」、南北朝時代の歴史物語「増鏡」に、後堀河天皇の姉である安嘉門院(あなかもんいん)が入湯された史実に由来し名づけられた「御所湯」など、温泉街に点在する七つの外湯に七回入ると四十苦難から逃れられるという言伝えがあります。

城崎は昔から保養の地として多くの文人墨客が訪れ、「文学のまち」「名作の舞台」と呼ばれています。文人墨客の数ある作品の中から、ゆかりのある文人の文学碑を外湯や由緒の地に建立し、これらを結ぶ道を「城崎文学散歩道」と呼び、観光客の人気を博しています。三〇〇年近く続く城崎の伝統的工芸品として、「麦わら細工」があります。染色した麦わらを幾何学模様を重ね合わせ、桐箱や菓子箱に貼る手法はわが国でも城崎温泉だけに伝わるもので、平成五年三月、兵庫県の伝統的



大谿川(おおたにがわ)

工芸品に指定されました。シーボルトコレクションとして海を渡り、オランダのライデン博物館などに保管されている麦わら細工の里帰り展が、平成八年に国立民族学博物館などで開催されました。まちの中西部には標高約五六七メートルの来日岳がそびえています。山頂からの眺めは絶景で、ことに晩秋には円山川の川霧に包まれる早朝、足下一面を白一色に閉じ込める霧の海「雲海」が日本海へ流れる様子を見ることができ

ます。但馬の中央を流れる円山川の豊かな水辺を利用して、B級公認コースの認定を受けている城崎漕艇場は、自然環境を活かしたコース設営の理念に最も近い条件を備えた水域として全国のボート関係者から評価され、平成十八年に開催される「のじぎく兵庫国体」では、ボート競技の会場に決定しています。



地区通信

災害に備え水防訓練

稲美町消防団

稲美町は、兵庫県の東播磨地域のほぼ中央に位置し、神戸市・明石市・加古川市・三木市に囲まれています。

歴史的には水に恵まれなかった大地を、先人が苦勞して切り開き、ため池を築き東播磨の穀倉地として発展、現在では素晴らしい田園風景が広がっています。

面積は、三四・九六平方キロ、人口は約三万三千人、世帯数は一万八百世帯となっています。

稲美町消防団は現在、団長、副団長五名、六分団四三部で団員数は八六三名です。装備は指令車一台・消防ポンプ車三台・小型動力ポンプ付普通積載車二台・小型動力ポンプ付軽四積載車一四台で活動をしています。

団の事業としては毎年事業計画を立て、新人団員・部長・幹部の研修、献血事業、操法大会、水防訓練、防災訓練、年末警戒等を事業計画に基づき活動しています。

昨年台風による被害は、町内でこんな被害が起こった経験のない団員が大半であったと思います。偶然にも水防訓練を九月上旬に実施し、加古川消防署稲美分署の指導により、土嚢作り・積土嚢の訓練を行いました。下旬には台風による二度の水害が起こりましたが、練習の成果を活かせることができました。今年度の訓練は昨年の水害で得た経験を活かすことを考え、積土嚢の訓練を分団毎に行いました。また、訓練に使った土嚢を各

部を持ち帰り水害に備え保管し、分団の各部において土嚢の保管場所・数量を把握し、昨年水害での危険箇所の点検をし、今後の台風等の災害に備え訓練を実施いたしました。今後も火災・災害等に迅速に対処できるよう訓練を行い、住民の生命と財産を守り、地域に根ざした住民から頼られる消防団を目指し、頑張っていきます。



「兵庫消防」

地区通信員会議開催

平成十七年六月八日(水)に第二三回「兵庫消防」地区通信員会議を兵庫県災害対策センター会議室で開催しました。会議では紙面の充実を図るため、様々な意見をいただきました。

編集部といたしましては、皆様から親しまれる「兵庫消防」を作成していきたいと思っておりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

本年度の地区通信員の方々をご紹介します。(敬称略)

○神戸地区  
神戸市消防局 藤森 栄二

○阪神地区  
伊丹市消防局 國尾 晃章

○東播磨地区  
高砂市消防本部 八釜 和昭

○中播磨地区  
姫路市消防局 慶尾 靖雄

○北播磨地区  
小野市消防本部 井上 昭仁

○西播磨地区  
龍野市消防本部 志水 豊章

○但馬地区  
養父市総務課 宿南 丈治

○丹波地区  
篠山市市民課 坂本 武志

○淡路地区  
洲本市総務課 坂本 拓也

編集後記

紫陽花の花が美しく咲く季節となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。さて、今月号では平成十七年度理事会・代議員会、また、兵庫県功労者表彰受賞の皆さんを掲載しております。消防団今昔には神戸市北消防団大沢支団長西山武史さん、吉川町消防団長中西君一さんより寄稿いただきました。厚くお礼申し上げます。兵庫消防では皆様の寄稿をお待ちしております。各地区通信員または、協会事務局までご連絡くださいようお願いいたします。

今年も梅雨を迎え、消防業務に携わる皆様には、何かと心配の多い季節かと思いますが、お身体に気を付けて、お過ごしください。

Advertisement for Morita Co., Ltd. featuring a fire truck and the slogan '安心を科学するモリタです。' (Morita is science for安心). Includes contact information for Morita Co., Ltd. in Osaka.

Advertisement for Daihatsu Industrial Co., Ltd. featuring a fire truck and the slogan '世界へ羽ばたく!' (Spread wings to the world!). Includes contact information for Daihatsu Industrial Co., Ltd. in Kyoto.

Advertisement for Seika Fire Equipment Manufacturing Co., Ltd. featuring four cartoon fire truck characters and a list of products like hoses, pumps, and extinguishers.

Advertisement for Seika Fire Equipment Manufacturing Co., Ltd. featuring a fire truck and contact information for their Osaka branch.